問い合わせ

健康対策課

2 57-7516

受けよう! 大腸がん検診

増え続ける大腸がん。日本のがん罹患数(がんと診断された 人の数)のうち、大腸がん罹患数は男女ともに2位になってい ます。近年、大腸がん罹患数は増えており、原因としては食生活 の欧米化などによる影響があると考えられています。

★簡単!大腸がん 検診

香南市では40歳以上(昭和45年3月31日以前生)の 方を対象に、「便潜血検査」による大腸がん検診を実 施しています。

「便潜血検査」は、便に血液が混ざっていないかを 調べる検査ですので、便を採って提出するだけで検 診は終了します。

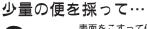
検診の流れ

①大腸がん検診受診票が手元に届いた方は、受診票 で指定された「容器渡し」の日時と場所を確認して、 容器を受け取りに行きます。

■持参するもの・受診票・検診費用(500円)

②容器回収日の前々日から、2回分の便(回収日前日・ 当日の便なら◎)を採ります。

用をたして…



表面をこすって便を とるだけ。簡単!



2回分そろったら…



指定の袋へ 八れて…

③受診票の「容器回収」日時に指定された場所で、便

※検診結果は便を提出してから1カ月以内に、精密

★大腸がんの 危険要区

- ・動物性脂肪や肉の多量摂取
- •運動不足
- ・直系親族に大腸がんになった人がいる

*早く見つけて早く治そう

国立がんセンターによると早期大腸がんはほぼ100 %完治するとされています。また、大腸がんの死亡数 は罹患数の約1/2であるというデータもあり、早期発 見・早期治療が大切な病気であることがわかります。

大腸ガン検診日程

場所 〔対象地区〕	容器渡し	容器回収
香我美保健福祉 セッター〔香我美町〕	13日 (水) 9:00~11:30	18日 (月) 9:00~11:00
夜須大峰の里 (夜須町)	14日(木)9:00~11:30	19日(火)9:00~11:00
のいちふれあい センター (野市町)	15日 (金) 9:00~11:30 13:00~15:00	20日(水) •21日(木) 9:00~11:00

【下記の方はご連絡ください】

_____ ◇受診票が届かなくても、40歳以上(昭和45年 3 月31 日以前生)の方で検診を希望される方も受けることが できます。

◇指定した日時と場所での容器渡し、容器回収にご都 合の悪い方でも、1月13日(水)〜21日(木)の間で検診 を受けられる場合があります。

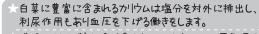
〈1人分の栄養価〉エネルギー 35kcal たんぱく質 2.9g 脂質 1.8g カルシウム 27mg 塩分 0.9g

▼材料(4人分)

白菜 ゆずこしょう レモン汁 ツナ缶

小さじ1・1/2 小さじ1/2~2/3 大さじ1 1/2缶

- **1)**白菜は5~7 mm幅に切り、塩を 入れてよく揉み、10分ほど置く。 ※塩は分量どおり入れてください
- 2) レモン汁にゆずこしょうを溶かす。
- 3)白菜は水気をよく絞り、軽く油 をきったツナ缶と②を入れて和える。



ピタミンCも比較的多く含まれていますので、風邪予防 や免疫カアップに効果的です。

ご家族の勤め先などの健康保険の、 被扶養者になれる人はいませんか?

市民保険課国保係 257-8506

国民健康保険から会社などの健康保険に変わることによって、世帯での保険 税の負担が少なくなる場合があります。例えば、協会けんぱの健康保険の被扶養 者になれる人は次の人です。

詳しくは、お勤め先の事業所または社会保険事務(☎088-864-1111)にお問い合わせください。

- 1 被保険者の直系親族・配偶者・子・孫・弟妹で、主として被保険者に生計を維持 されている人
- 2 被保険者と同一の世帯で、主として被保険者の収入により生計を維持されてい
 - ①被保険者の三親等以内の親族(①に該当する人を除く)
 - ②被保険者の配偶者で、戸籍上婚姻の届け出はしていないが、事実上婚姻関係と 同様の事情になる人の父母および子
 - ③②の配偶者が亡くなった後における父母および子

被保険者本人に養われていない人は、被扶養者の範囲にある配偶者や子などでも、 被扶養者とはされません。どのくらいまでの収入が、被扶養者とされるかの基準は 大体次のとおりです。

1 被保険者と同一世帯の場合

年間収入が130万円未満(60歳以上の場合、または障害厚生年金を受けられる程度の障害 者である場合は180万円未満)で、かつ被保険者の年間収入の2分の1未満の場合。 ※ただし、上記に該当しない場合でも、被扶養者になれる場合があります

2 被保険者と別世帯の場合

年間収入が130万円未満で、かつ被保険者からの援助額・仕送額より少ない場合

65~75歳未満の人で構成された世帯の 世帯主の皆さまへ 税務課国保税係 ☎ 57-8504

次に該当する世帯主の方は、平成22年度の国保税が特別徴収(年金からの天引き)されます。 保険料は、4月から※仮徴収により納めていただくことになります。

次の額を4・6・8月支給の年金から徴収するものです。

①平成22年4月から特別徴収が開始される世帯

…平成21年度に普通徴収(納付書による納付)で課税された年税額の6分の1の額

②すでに特別徴収が開始されている世帯

…平成22年2月に特別徴収された額

■特別徴収の対象者

次の条件すべてが該当する世帯主の方が対象となります。(平成21年10月1日時点で)

- ①国保の被保険者
- ②年金の受給額が年額18万円以上
- ③65歳以上75歳未満の国保加入者で構成された世帯の世帯主
- ④介護保険料と国保税との合計額が世帯主の年金額の2分の1を上回らない

■特別徴収から口座振替への変更

金融機関に口座をお持ちの方は、口座振替による納付に変更できます。

■納付方法の変更窓口

口座振替の手続きを金融機関で行った後、税務課または各支所までご連絡ください。 ※すでに、口座振替による納付を行っている方も税務課または各支所までご連絡ください

国民健康保険に ご加入の人へ

ことによって世帯での保険税が少なくなる場合が